

一般質問

宮本
議員

○松浦貯蓄共済協同組合に市が2千500万円を貸し付けした結果責任について

質 組合の当期純利益は平成28年度から平成30年度まで3期連続赤字となつていますが、当時総務課長であつた副市長は貸し付けの決裁をしています。なぜ赤字の組合に貸し付けたのかお伺いします。

副市長 総務課長のときは予算措置や財源確保が適切かを確認しているのであつて、案件そのものの決裁ではありません。組合から出された貸付利息の回収計画などを確認し、改善がなされれば市に対する返済は可能であると担当課において判断をして、当時貸し付けたものと承知しております。

質 連帯保証人を立てることで市の債権を担保したとのことだが、なぜ当初貸し付けする際に資格審査をしなかったのかお伺いします。

市長 連帯保証人は非常に重い責任を負うもので、当然ご理解された上で押印されたものと判断をしました。

質 市に損害を与えないためには、貸し付けに至るまでの審査の問題や

貸し付け時に理事一人が保証人になつていなかったこと、連帯保証人一人一人との面会を怠つたことなど、総合的に判断して、市長個人が代位弁済したかどうかと思ひますが、いかがですか。

市長 法令・判例上、債権管理について市長である私に裁量の余地はなく、法にのつとめて肅々と対応しなければならぬことから、私がその返済を立て替へすることは考えておりません。

質 市長に貸し付けの責任があるならば、市に4年間未収金として計上されるのを解消することが大事である。市長が代位弁済すれば、みんな喜ぶと思いますが、代位弁済する意思はありますか。

市長 その意思はございません。

質 市長は自分の責任の取り方は未収金の回収にあると発言された。しかし、保証人の財産を差し押さえて没収し、競売にかけて未収金を回収することを市がしますか。まず、市長個人のお金で立て替へる代位弁済が市長としての責任の取り方と考えますがいかがですか。

市長 これは裁判で確定をした内容でしっかりと執行し、実施しなければならぬというのが法の定めでありますので、法に従つて対応をしてまいりたい。したがって、私が代位弁済をする考えはございません。

一般質問

金井田
議員

○松浦鉄道の今後のあり方について

質 松浦鉄道自治体連絡協議会定期総会で市長が「各自自治体は観光振興の中で松浦鉄道をきちんと位置付ける必要がある」と述べられました。市長の思いをお伺いします。

市長 鉄道は単なる地域の移動手段としてだけではなく、沿線自治体の観光資源として位置づけることで、今後も引き続き松浦鉄道の存続を図つていこうという思いであります。

質 地域交通・観光資源化として、持続可能な松浦鉄道の存続について市長の見解をお伺いします。

市長 松浦鉄道は本市の公共交通の根幹をなすものであり、本年4月の西肥バスの路線廃止や減便に伴い重要性はより一層増している状況にあります。市としては文化会館の近くにアーバンスポーツの専用広場を整備したり、パーク・アンド・ライドを促進したりするなど、周辺自治体と連携しながら、様々な対策を行い利用促進を図つてまいりたいと考えています。

○松浦市立埋蔵文化センターの入館

者対策について

質 子どもたちに広く鷹島海底遺跡を知ってもらふ機会を与えるために、市内外に関わらず、入館料を無料にしてはどうか。一方で、維持管理の経費が必要となるので「一般・大学生」の入館料を少し値上げしてはどうか。「小中高生」の入館料収入は少なく、若干の値上げで逆に収入を増やすことができると思ひますが、見解をお伺いします。

文化財課長 児童生徒に学ぶ機会を提供することは、鷹島海底遺跡の普及に資することが期待できると考えていますが、近年の物価高騰や人件費上昇もあり、維持管理に係る費用が増えているのも事実です。両面から現状を精査し、検討を進めたいと考えています。

質 施設へのアクセスのしやすさも入館者数に影響します。鉄道やバス、道の駅との連携、駐車場や案内表示の整備状況など、アクセス改善策の検討状況についてお伺いします。

文化財課長 現時点で鷹島海底遺跡に限定した公共交通機関と直接的な連携は行つていませんが、松浦駅にはパンフレットを置いてあります。また、埋蔵文化財センターの誘導看板に「元冠船のいかり展示中」と展示内容が分かるようなものにリニューアルをしているところでございます。